

事業所名

児童発達支援センター び〜と (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

19 日

法人（事業所）理念		「やさしさあふれるまちづくり」ハンディキャップを持つ人々も、ハンディキャップを持たない人々も、共にいきいきのびのび暮らしていける理想の社会環境の実現をめざしています。「お互いを思いやるやさしさ」=「心のスロープ」が全ての人々の心の中に広く、大きく、なだらかに広がっていき、やさしさに溢れた街になることを願っています。					
支援方針		日常生活の動作指導・集団生活に慣れるための療育を行います。小集団での活動・遊びの中で楽しみながらできたことや、チャレンジしたことを自信に繋げ、一人ひとりの成長に合わせて支援を行います。					
営業時間		9 時	00 分から	13 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	子どもの健康状態のチェック、基本的な生活スキル（食事・排泄）の習得ができるように支援します。来所時や降所時の準備等を行い、日常生活や進級に向けての支援を行います。					
	運動・感覚	サーキットや運動遊びを通して楽しみながら経験を重ね、運動機能・体感・バランス感覚を育てることにより、日常生活の拡充を図ることを目的とした支援を行います。また、基本的な運動能力の向上を目指し、支援を行います。					
	認知・行動	場面にあった適切な認知と行動（時間や生活の中でのルール）の習得を目指して支援を行います。スケジュールやタイムタイマーを使用し、見通しを立て、安心して活動ができるように支援を行います。					
	言語 コミュニケーション	他者との関わりや活動を通して、自分の気持ちや思いを伝えることができるよう、コミュニケーションスキルの向上に繋がります。必要に応じて職員がモデルになり一緒に伝える事で、自分の気持ちや思いを伝える事ができたという成功体験を積み重ね、相互的な他者との関わりを築いて行けるように支援を行います。一人ひとりの子どもにあった方法で支援を行います。（身振り、指差し、写真、絵カード）					
	人間関係 社会性	活動や遊びを通して、役割を任せる・ルールや順番を守る事など、集団生活において必要な事を経験し、集団への参加ができるように支援を行います。他者との信頼関係の構築、子どもの思いや気持ちをくみ取りながら、他者との適切な関係づくりを行えるように支援します。					
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポートを行います。			移行支援		学校・関係機関との連携を行います。
地域支援・地域連携		将来的に地域での生活を行う上で、一人ひとりの「こまり」がなくなるよう、園、相談支援事業所、行政等の関係機関との連携を行い支援をします。			職員の質の向上		定期的な内部・外部研修の参加。 療育セミナー・ペアレントプログラムの開催。
主な行事等		お誕生会・七夕まつり・プール遊び・秋祭り・スポーツの日・ハロウィン・クリスマス会・豆まき・送る会 避難訓練					